実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	一般社団法人日本学生サーフィン連盟
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	2025 第 54 回秋季全日本学生サーフィン選手権
助成金額	1,696,000 円

令和 7 年度スポーツ団体スポーツ活動助成を受けて、「2025 第 54 回秋季全日本学生サーフィン選手権」を実施している一般社団法人日本学生サーフィン連盟の実施状況調査を行いました。

54 回目の開催と非常に歴史のある本大会は、10 月 25 日（土）26 日（日）の 2 日間にわたって開催され、大学生及び OB・OG を対象とした、入賞者にとって大変栄誉のある競技大会です。

本年は天候によるタイムスケジュールの大幅な変更こそありましたが、無事全クラスの実施が叶い、また、調査当日は幸いにも雨に降られることがなく、参加者から「良い波だった」という声も聞こえるほど良い波のコンディションでした。

■助成の意義

サーフィン競技は昨今、リザルト配信等のオンライン化が求められているほか、プライオリティルールという複雑なルールが導入されたことで、競技運営に要する人員がより求められている状況だそうです。加えて、サーフィン競技の審判は非常に高度な技術が必要であり、有資格者である審判員への諸謝金等、必要経費が増大することが見込まれることから、本助成金の申請に至ったとのことです。

結果として、助成を受けることで、懸念事項であった運営人員の増加による諸謝金等の減額を防げたほか、選手の参加料を抑えられたことで、例年よりも多くの参加者が集ったそうです。

また、プライオリティルールにおいて欠かせないプライオリティボードを設置し、それまで使用していた簡易的なボードに比べるとかなり視認性が高まったことで、よりスムーズな大会進行ができるようになったそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

開催時期である秋の鴨川の海岸は、風と波の状態が非常に良好であるため、この時期に鴨川の海岸を借りられることは、サーフィンの競技大会として非常に大きなメリットなのだそうです。そのような場所で開催を続けて行くためにも、行政機関、海上保安庁や地元漁協等との関係づくりにも注力しているとのことでした。

また、月に１回、学生委員のミーティングを行っており、本大会についても、参加者からの意見の回収や、次回に向けた反省点の洗い出しを予定しているとのことです。今後については、西日本方面の学生が参加しやすくなるよう、鴨川以外の地域での開催も検討しており、検討先の理

解が得られるよう注力されているそうです。

■所感

厳正な国際ルールに基づいた本格的な競技大会でありながら、選手同士で和やかに声の掛け合いが行われていたのが印象的でした。また、千葉県南部において屈指のサーフポイントである鴨川の海岸で開催される本大会は、参加者にとって大変有意義な、実りある経験になると感じました。今後も、本事業がサーフィン競技、ひいてはサーフィンに打ち込む学生たちの未来につながることを期待いたします。

（令和 7 年 10 月 26 日往査）

（写真）2025 第 54 回秋季全日本学生サーフィン選手権の様子



